

# 最近の治安情勢と対策

平成23年12月7日

在ジュネーブ出張駐在官事務所

## 1. 現状～犯罪の傾向が凶悪化へ

2010年に比して、犯罪発生数は増加傾向にあり、特に強盗、窃盗、器物破損が増加し、持凶器による犯罪も増加傾向にある。（当地報道等による）

### (1) 最近の被害の主な事例

#### ○ 侵入強盗未遂事件（家人が在宅中にも関わらず強盗が侵入）

10月26日（水）午後8時30分頃、被害者である若い夫婦が自宅（グラン・サコネ市所在、マンション7階）で食事中、玄関の呼び出しベルが鳴ったので、来客と勘違いした被害者が、相手を確認せずに玄関ドアを開けたところ、目だし帽をかぶり、けん銃で武装した3人組の男女が被害者宅に押し入った。被害者は犯人にけん銃で脅されたが、これに屈せず格闘し、犯人からけん銃を奪ったので、犯人グループはけん銃を現場に残したままから逃走。

#### ○ けん銃使用の殺人事件（コルナバン駅付近）

11月8日（火）午後6時45分頃、コルナバン駅近くのショッピングセンター内において、男性二人が口論となり、うち一人がいきなり回転式けん銃を抜き出し、続けざまに3発発砲し、うち1発が被害者の頭部に命中。

犯人は、現場から徒歩で立ち去り、付近の中華料理店にいるところを逮捕された。（被害者である30歳代の男性は、翌日、死亡。）

#### ○ 路上強盗

・10月27日（木）午後7時15分頃、レマン湖畔の花時計付近で、邦人出張者2名（男性）が、「チャイニーズ、フットボール」等、声をかけてきた5～6人の男性グループ（中東系）に足を掛けられて倒されたところコートのポケットに入れていた財布等を奪われた。

・11月3日（木）午後11時20分頃、パキ地区路上で、ナイフを持った二人組の男（マグレブ系）が82歳の男性を地面に押し倒し、引きずり回すなど執拗に暴行を加えて鞆を奪おうとした。

#### ○ スリ、置き引き ～ 駅、空港、バス及びトラム車内で多発

- ・見知らぬ人から話しかけられ、荷物から目を離したすきに貴重品を盗まれた。
- ・混んでいるバスの車内で、ショルダーバッグのファスナーを気付かないように開けられ財布等を盗まれた。
- ・駅で電話をかけている隙に、財布を盗まれた。

## 2. 対策

### (1) 侵入盗（空き巣）対策

- ・ 警報機を設置する，玄関ドアに門（かんぬき）を取り付ける等の防犯設備を強化する。
- ・ 玄関等の施錠を確実に行う。
- ・ 在宅中でも必ず施錠をする。（ベランダ，浴室の小窓等の施錠も忘れない）
- ・ 見知らぬ訪問者に対して警戒を怠らない。～インターフォン，透視鏡の使用（犯人は，業者等のふりをして侵入を試みる。）
- ・ 多額の現金，貴重品を自宅に保管しない。（保管場所に注意する。）

### (2) スリ，置き引き対策

- ・ 見知らぬ人に話しかけられても，毅然として「NO!」と拒否する。
- ・ バッグは肩にたすきに掛け，常に体の前方で自分の視界に入る位置に持つ。話しかけられた際には抱きかかえるようにして防護する。
- ・ バッグの蓋やファスナーを確実に閉める。
  - ※ファスナーにはキーホルダー等を付けない（容易に開けられてしまう）
- ・ ズボンの後ろポケットに財布を入れない。
  - ※男性のスリ被害は，ズボンの後ろポケットに財布を入れていた場合が殆ど
- ・ 突然，食べ物や汚物を衣服にかけられても動揺せず，落ち着いて対応。
- ・ 電話をかけているとき，ホテルのロビー，レストラン等では，荷物から目を離さない。
- ・ スリ多発時間帯（15時～18時）には，特に注意する。（参照：別添資料）

#### ※スリの犯人が，日本人相手によく使うセリフ※

- ☞ 「チャイニーズ？」
- ☞ 「フットボール！フットボール！」 「ダンス，ダンス！」
- ☞ 「カラテ，ジュードー，スモウ」

こちらの警戒心を緩めるために，非常にフレンドリーで，笑いながら，じゃれるように近づいてきます。

### (3) その他，一般的防犯対策

- ・ 常に周囲の状況に気を配り，不審者と思ったら，人通りの少ない方向に進むのを避け，携帯電話でどこかに連絡しているようなふりをする。（犯人側に，自分が警戒していることを示す。）
- ・ 見知らぬ人に話しかけられても相手にせず，立ち止まることなく歩き続ける。
- ・ 危険を感じた場合には，日本語でもいいので大声を出し，周囲に知らせる。
- ・ 人通りが少なくなる深夜の外出は必要不可欠な場合を除き極力控える。
  - 特に犯罪多発地域（パキ，コルナバン，オーヴィーヴ，リーヴ）への深夜の外出は控える。

### 3. ご参考

#### (1) 「ジュネーブ州拾得物取扱所」: service cantonal des objets trouvés

ジュネーブ州内で発見された落とし物を一括保管する場所で、身分の分かるものが入っていれば持ち主に手紙等で通知が来ます(パスポート等はジュネーブ出張駐在官事務所へ連絡が来る場合もある)。

被害に遭ってから数ヶ月経過してから届けられることもありますので、定期的に確認すれば戻ってくる可能性もあります。

引き取る際には法律の定めにより、受領代金(物の価値により変動)を支払わなくてはなりません。(金額については以下ホームページ参照: 仏語・英語)

所在地: 5 rue des Glacis-de-Rive 1207 Genève

電話: 022. 546. 0900

F A X: 022. 546. 0911

e-mail: [scot@etat.ge.ch](mailto:scot@etat.ge.ch)

営業時間: 月曜～金曜 午前7時30分～午後4時00分まで(昼休み無し)

最寄りバス停: Terrassière (1, 12, 16, 17, 20, 27番)

ホームページ: [http://www.geneve.ch/objets\\_trouves/](http://www.geneve.ch/objets_trouves/)

#### (2) スイスの交通法規について

##### ○ 駐停車違反

- ・ 駐車禁止違反 40～100フランの罰金
- ・ 停車禁止違反 120フランの罰金及び車両移動

##### ○ 速度違反

- ・ 一般道路での制限速度: 80Km/h, 住居地域での制限速度: 50Km/h
- ・ 高速道路での制限速度: 120km/h(但しジュネーブは100km/hの速度制限が主)

#### (3) 高速道路通行ステッカー

- ・ 1年間有効(年末に郵便局等で販売)
- ・ 年間40フラン(ステッカーを付けずに走行すると来年からは200フランの罰金)

#### (4) 酒気帯び運転

検知したアルコールの量によって罰金、免許取り上げなどの行政処置がとられる。

#### (5) 信号無視

- ・ 赤信号無視: 罰金250フランの罰金(2回目からは免許取り上げ。)

#### (6) 交通事故発生時

- ・ 車両のみの損傷ならば「European Accident Statement」(ヨーロッパ交通事故・状況報告書)で済ませることができるが、負傷者があれば、すぐに「117」に通報すること。

図1

### トラム・バスにおけるスリ発生件数 (2010年)

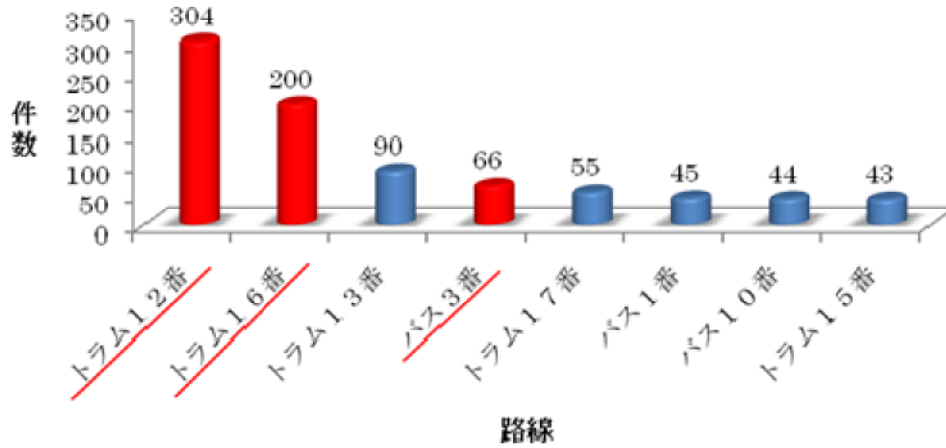
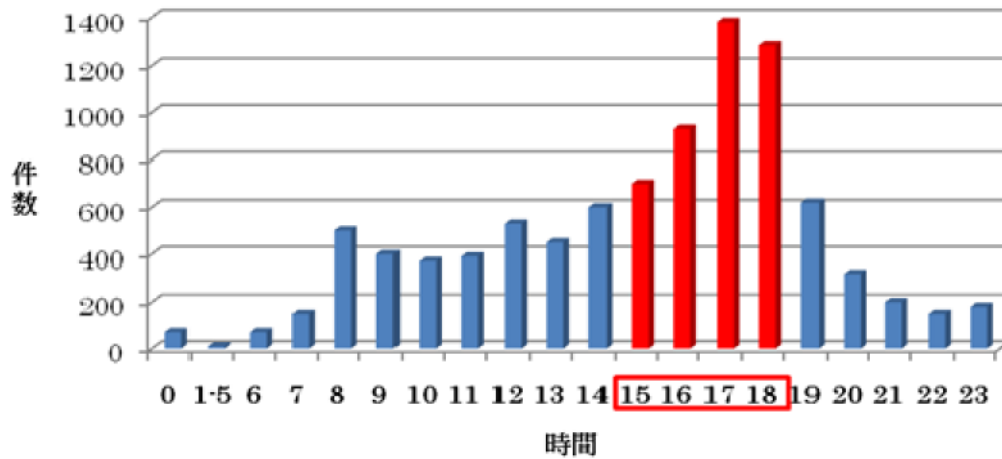


図2

### スリ発生時間帯 (2007年1月～2011年5月までの平均)



## ヴォー州の犯罪状況

(2010年の警察統計と最近の新聞報道)

2010年、刑法違反数は59,396件で、前年に比べ1.6%増加した。うち窃盗、器物破損、追剥強盗、路上等での脅迫、詐欺等財産への被害は43,369件で、刑法犯の71.8%を占めた。強迫・軟禁等心身を拘束する事例は17.7%、傷害・殺人・強姦等は4.7%であった。

自動車泥棒は2,847件で、前年に比べ31.6%もの増加を記録した。(自動車泥棒は別の統計項目) 麻薬・覚醒剤といった薬物に絡む法の違反は、9,560件で、2009年に比べ1.3%増加した。

- 刑法違反の発生を都市別に見ると、人口1000人あたりヴォー州では平均84.7件で、スイス平均の67.8件に比べ高いものであった。都市部ではさらに高く、ローザンヌ市では146.8件、ヴヴェ市では139.8件、クリシエ町では137.6件、ニオン市では131件であった。ジュネーブに近いニオン市を中心としたニオン以西の地域、ニオン郡(district de Nyon)での平均は75.7とやや低い数値であった。
- 窃盗・器物破損等財産被害件数は、43,363件で前年に比べ3.3%増加し、その半数以上、23,465件は窃盗(侵入窃盗、スリ、ひったくり、車上荒らし等)である。
  - 侵入窃盗の数は窃盗犯罪数全体の3分の1を占め、対前年比1.4%増加。
  - ひったくりは前年比で12.3%増、車上荒らしは10.2%増、スリは0.6%増加。
  - 一方、荒い手口の強盗は3.0%増加であったが、さらに刃物・銃器等を用いた事例は29.6%と大幅に増加した。
  - 2011年9月、ローザンヌ市において本年夏期の空巣被害が前年に比べ50%もの増加があったことが州警察より発表された。
- 薬物に絡む問題では、本年11月初めにローザンヌ市の高級ブティック街のブル通りで、アフリカ系ディーラーが目立ってきており、商店街が市警察にその排除を陳情した旨の報道がなされた。また、同月末、大規模な手入れが行なわれ、22人が検挙されている。
  - 薬物に絡む犯罪発生都市別に見ると、人口1000人あたりローザンヌ市で43.9件、ニオン市で41.0件と高い数字が示された。また、ヴォー州北部のヴァロルブ町では例外的に48.3と高い数字が示された。その他の都市での薬物に絡む犯罪発生率は、人口1000人あたり、概ね10件以下で、この主の犯罪発生には局地的な様相が見られる。

ヴォー州での主な手口の窃盗件数は下記の通り。

手口	2008年	2009年	2010年	増加率 (2008年-2010年)	増加率 (2009年-2010年)
侵入窃盗	6824	7255	7359	7.8%	1.4%
スリ/	1487	1960	1971	32.5%	0.6%
ひったくり	196	163	183	-6.6%	12.3%
車上荒らし	2312	1915	2114	-8.6%	10.4%

図 1

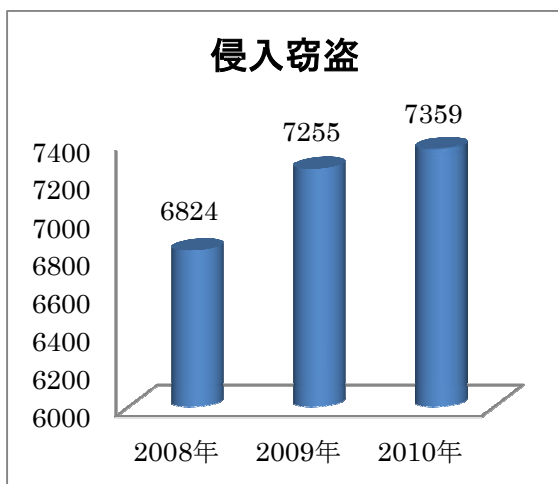


図 2

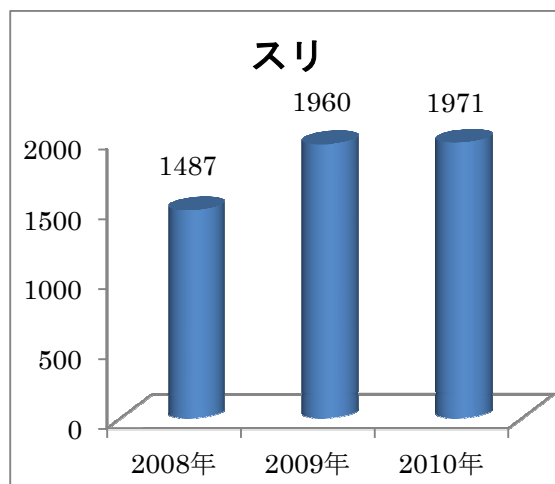


図 3

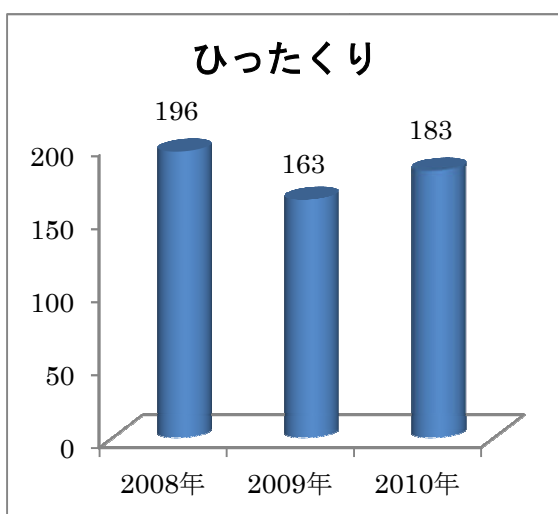


図 4

